

## 関東学院大学の求める教員像及び教員組織の編制方針

関東学院大学は、理念・目的を実現するために、学位授与方針及び教育課程の編制・実施方針を踏まえて、「求める教員像」と「教員組織の編制方針」を次のとおり定める。

### **求める教員像**

- 1 関東学院の教育の土台であるキリスト教の精神に理解があり、本学の一員として協働できる者
- 2 大学における教育研究活動に従事するにふさわしい能力を有しており、絶えずその向上に努めることができる者
- 3 授業、研究指導、学生支援等に熱心に取り組み、学生の信頼に応えることができる者
- 4 教育研究上の成果を広く社会に還元し、社会の発展に寄与することができる者
- 5 本学の発展のために、大学運営に積極的に関わることができる者

### **教員組織の編制方針**

#### **【大学（全学共通）】**

- 1 大学設置基準や大学院設置基準等の関連法令に基づき、学部・研究科における教育研究上の目的を実現するために必要な教員を配置する。
- 2 研究の活性化や教育力の向上等の大学の目的に応じ、総合研究推進機構等に教員を配置する。
- 3 大学諸規程等に基づき、教員の募集、採用、昇任等を公正且つ適切に行う。
- 4 特定の年齢層に偏ることのないよう配慮するとともに、教育研究上の目的を踏まえて、国際性や男女比等にも留意し、教員組織を編制する。
- 5 組織的・多面的なFD活動を行い、絶えず教員の資質向上を図る。
- 6 組織的な連携体制により教育研究を行うため、必要な役職を配置し、責任所在の明確化と役割分担の適切化を図る。
- 7 教員組織の編制に関する適切性は、大学自己点検・評価委員会において全学的・定期的に検証を行う。

## 【国際文化学部】

1 [編制方針] 国際文化学科では、教育研究上の目的を達成するため、以下に定める3つのコースの教育・研究指導方針を踏まえ、教員組織を編制する。

- ・英語文化コースは、学生が英語圏の言語、文化、文学、コミュニケーションに関する課題を発見し探究することができるよう、専門教育と研究指導を行う。
- ・グローバル歴史文化コースは、学生が日本・アジア・欧米の歴史と文化に関する課題を発見し探究することができるよう、専門教育と研究指導を行う。
- ・多文化協働コースは、協働的な学びを基盤として、学生が国際協力・開発、言語による支援、教育による支援に関する課題を発見し探究することができるよう、専門教育と研究指導を行う。

2 [専門分野、教員配置] 教育課程との整合性を重視し、学科の専門分野における優れた研究業績と人文科学の深い素養を兼ね備えた教員を任用する。あわせて、共通科目の外国語科目・キリスト教学・保健体育科目、学芸員課程、日本語教員養成課程、社会教育主事養成課程の運営に必要な教員を配置する。共通科目、専門科目、各資格課程の科目のいずれにおいても、教育上主要と考えられる科目については、なるべく基幹教員が担当するよう配置する。なお、3つのコースには、それぞれ以下に定める条件を満たした教員を配置するが、学科カリキュラム運営の必要に応じて、コース間での柔軟な人員配置を可能とする。

- ・英語文化コースの教員に求められるのは、英語コミュニケーション、英語学、英語圏文化、英語文学、英語教育、異文化コミュニケーションの各分野における高度で確かな専門的知識と、これらの諸分野にわたる広い学術的関心・意欲である。あわせて、教職課程（中学校・高等学校「外国語（英語）」）の運営に必要な教員を配置する。
- ・グローバル歴史文化コースの教員に求められるのは、日本・アジア・欧米の歴史と文化（文学・芸術・思想・宗教）の各分野における高度で確かな専門的知識と、これらの諸分野にわたる広い学術的関心・意欲である。あわせて、教職課程（中学校「社会」、高等学校「地理歴史」、「公民」）の運営に必要な教員を配置する。
- ・多文化協働コースの教員に求められるのは、多文化共生社会の実現に向けた国際協力・開発、言語、教育の各分野における高度で確かな専門的知識と、これらの諸分野にわたる広い学術的関心・意欲である。

3 [教員構成] 国際文化学科では、学科の専門分野と育成する人材像を踏まえ、先進的な研究能力を有する研究者や当該分野における高度な専門的指導者、教材開発能力を持つ者を広く国内外に求める。また、教員の任用に当たっては、教員組織の多様性に留意しつつ、年齢・性別構成、専門分野等のバランスに配慮する。

## 【社会学部】

- 1 社会学分野および社会福祉学分野の各分野に、十分な研究教育業績を有する教員を配置する。
- 2 社会学および社会福祉学のカリキュラムを滞りなく実施できるようにするとともに、専門教育を企図し、研究指導を実施し、学生のキャリア形成とディプロマ・ポリシーの実現を目指すことができる教員組織を編制する。
- 3 社会学分野および社会福祉学分野では、国内外でのフィールドワーク等による調査研究活動を継続的に実施し、社会福祉機関や住民組織等の近隣地域との連携を進め、かつ、国際交流に関わる実績を有する教員を配置する。あわせて、社会学分野では社会調査士資格の、社会福祉学分野では社会福祉士養成課程の科目を担当できる教員を、それぞれ配置する。

## 【経済学部】

- 1 経済学分野、経済学の隣接学問分野、その他の幅広い学問分野、語学分野の各分野に、最先端の知識・技量と十分な研究教育業績を有する教員を配置する。
- 2 専門科目のコースと共通科目のカリキュラムを円滑に実施できるようにするとともに、専門教育と共通科目教育を企図し、初年次から卒業までの教育を実施し、学生のキャリア形成とディプロマ・ポリシーの実現を目指すことができる教員組織を編制する。

## 【経営学部】

- 1 経営学および共通科目の各分野に、十分な研究教育業績を有する教員を配置する。
- 2 共通科目、専門科目のカリキュラムを滞りなく実施できるようにするとともに、ビジネスプラン教育やK-bizプロジェクトを推進できる教員を配置する。
- 3 経営学の学問特性に鑑み、ビジネスの現場での豊富な実務経験を有する教員を配置する。

## 【法学部】

### 【法学科】

- 1 法学、政治学及び隣接諸科学の各分野において、十分な研究教育業績を有する教員を配置する。
- 2 学部基幹科目並びに「司法」・「行政」・「企業」の3コースごとに定められたコース専門選択必修科目の運営に必要な教員を配置する。
- 3 実務との関係が密接な科目群については、実務に精通している教員を配置する。

### 【地域創生学科】

- 1 法学、政治学及び隣接諸科学の各分野において、十分な研究教育業績を有する教員を配置する。
- 2 学部基幹科目及び地域創生基礎科目並びに「地域デザインコース」・「地域安全コース」の各コースに設定された科目の運営に必要な教員を配置する。
- 3 「地域実践演習」及び「地域創生特論」については実務経験豊富な教員を配置する。

## 【理工学部】

理工学部理工学科には、理工学を中心分野である生命、数物、化学、表面工学、機械、電気、土木の7学系と共通科目が設置され、教員は、これら7学系の教育課程の運営にあたると同時に、基礎および専門教育を企図し、研究・教育指導の協調体制によって学生のキャリア形成とディプロマ・ポリシーの実現を目指すことができる有機的な教員組織を編成する。このために、以下に示す3つの編成方針の下に教員を配置する。

- 1 7学系と共通科目に、以下の分野において、十分な研究教育業績を有する教員を配置する。

生命学系：植物分子生物学分野、動物分子生物学分野、ケミカルバイオロジー分野、細胞生物学分野、微生物生化学分野、微生物分類学分野、微生物利用学分野、生態学分野

数物学系：代数学分野、整数論分野、生物物理学分野、高エネルギー天文学分野、量子物理学分野、理論宇宙物理学分野、原子核物理学分野

化学学系：無機化学分野、有機化学分野、物理化学分野、分析化学分野、化学工学分野、電気化学分野、基礎化学分野

表面工学学系：湿式法による表面工学分野、乾式法による表面工学分野、エレクトロニクス実装工学分野、結晶成長分野、物理化学分野、電気化学分野、機器分析分野

機械学系：機械力学・計測制御分野、材料力学・設計工学分野、流体・熱工学分野、材料・生産工学分野

電気学系：電気エネルギー工学分野、電子物性工学分野、情報システム工学分野、通信システム工学分野

土木学系：構造工学分野、コンクリート工学分野、地盤工学分野、水工学分野、防災工学分野

共通科目：キリスト教学分野、言語学分野、英語教育分野、英米文学分野

- 2 7学系において、以下に示す最先端の知識・技量と豊富な実績・経験を有する教員を配置する。

生命学系：分子生物学分野で最先端の知識と技術を有する教員を、植物、微生物、動物の各分野に配置する。必要な技能は、リアルタイムPCRを用いた遺伝子発現の解析技能、DNAシーケンサーによる塩基配列の解析と比較、及び遺伝子産物であるタンパク質の詳細な分析技術などである。

数物学系：数物科学分野で最先端の知識・技量と豊富な実務経験を有する教員を配置する。関東学院大学および理工学部のアドミッション・ポリシー、ディプロマ・ポリシー、カリキュラム・ポリシーに基づき、数学系・物理系・情報系分野の基礎ならびに専門教育を行う能力を持ち、また国際的に高く評価される研究能力を備えている。

化学学系：応用化学分野において、有機、無機、環境、エネルギーの分野において最先端の知識、経験、実績を有する専任教員を配置する。必要な技能は、化学分野全般にわたる専門的な知識と実験のスキル、得られた研究成果を分かりやすく伝えるプレゼンテーション能力とコミュニケーション能力を含めた社会人基礎力である。

表面工学学系：表面工学分野において、最先端の知識と経験と実績を有する専任教員を配置する。化学の基礎については化学学系と連携している。産業界との連携も密接であり、3週間の独自の企業実習を行う。さらに、国内外の学会活動なども活発に行い、プレゼンテーション能力やコミュニケーション能力を高める。さらに、問題解決法などの社会人も養成する。

機械学系：機械、機械システム工学、およびその関連分野において最先端の知識・技術ならびに技術者倫理を有し、機械工学に関する学術的な知識の教授に留まらず、学生一人ひとりに寄り添い、思考力、問題解決能力、コミュニケーション能力を有する人材を育成することができる教員を配置する。

電気学系：電気・電子工学分野で最先端の知識・技量と豊富な経験を有する教員を配置する。また、電気学系における教育を主務とし、他の教職員と協力して、学系運営および種々の諸事務等を行うことのできる教員を配置する。

土木学系：土木工学、都市防災の分野で最先端の知識、技量と豊富な実務経験を有する教員を配置する。必要な技能は、地震や台風などの被害予測とその対策、安全安心な社会基盤施設の構築等についての調査、実験、解析などに関わる専門的知識や技術である。

- 3 基礎教育における数学分野、物理学分野、化学分野、生物学分野、地学分野については学系所属教員が担当し、これらの教員は学系の専門教育と共に学部の基礎教育を担当する。一方、共通科目所属教員は学部の英語教育等を担当する。

### 【情報学部】

情報学部の目的である現代社会における情報技術の発展とデジタル化に対応し、最先端の技術を駆使して新たな価値を創造するために、情報工学、数理・人工知能、情報メディア、医療・人間情報学の4つの分野を柱とするカリキュラムを編成する。この教育課程の体系性と専門性を確保するため、各分野の教育・研究をリードできる教員を適切に配置する。

特に、以下の方針に基づき教員を配置する。

- ・主要授業科目はすべて基幹教員が担当し、専門的知識と教育経験を活かした指導を行う。
- ・教育と研究の両立を図るため、学術的業績に優れた教員と、実務経験豊富な教員のバランスを考慮して配置する。
- ・学際的・融合的な学びの推進を目的に、学部内および他学部・外部機関と連携可能な教員を積極的に配置する。

## 【建築・環境学部】

- 1 建築・環境学を構成するデザイン分野、構造分野、材料・施工分野、環境・設備分野とキリスト教学や語学、数学などを含む共通科目の各分野に十分な研究教育業績を有する教員をバランスよく適切な人数で配置する。
- 2 建築・環境学部が有する5つのコース（建築デザイン、まちづくりデザイン、すまいデザイン、建築エンジニアリング、環境共生デザイン）のカリキュラムを滞りなく実施できるように調整を図り、専門教育及び研究指導を実施し、学生のキャリア形成への寄与とディプロマ・ポリシーの実現を目指すことができる教員組織を編制する。
- 3 建築・環境学に関わる各分野で最先端の知識・技量と研究、設計において豊富な実務経験を有する教員を配置する。

## 【人間共生学部】

### 【コミュニケーション学科】

- 1 メディア・コミュニケーション領域、ビジネス心理・コミュニケーション領域、グローバル・コミュニケーション領域の各領域に十分な研究業績を有する教員を配置する。
- 2 学生が実社会において問題を発見し解決するための力を育成するために、実務経験を有する教員を配置する。
- 3 3つの領域のカリキュラムを滞りなく実施できるようにするとともに、専門教育を企画し、研究指導を実施し、学生のキャリア形成とディプロマ・ポリシーの実現を目指すことができる教員組織を編制する。

### 【共生デザイン学科】

- 1 デザイン構想、デザイン表現の各領域に十分な研究教育業績を有する教員を配置する。
- 2 2つの領域のカリキュラムを滞りなく実施できるようにするとともに、専門教育を企画し、研究指導を実施し、学生のキャリア形成とディプロマ・ポリシーの実現を目指すことができる教員組織を編制する。
- 3 デザイン構想、デザイン表現の各領域に、十分な研究業績を有する教員を有し、学生が課題を発見し、これを解決するための方策を構想する力ととりまとめ表現する力を育成できるように教員を配置する。

## 【栄養学部】

- 1 栄養関連専門基礎分野、栄養関連専門分野、栄養教諭分野の各分野に、「管理栄養士学校指定規則」や「栄養士法施行規則」等の規程に準拠し、十分な業績と教育歴、医師、管理栄養士など必要な資格を持つ教員を配置する。
- 2 各専門分野において、実務経験を有している教員を配置する。
- 3 各専門分野において、社会連携・社会貢献や地域交流等を展開できる教員を配置する。

## 【教育学部】

- 1 小学校教諭養成課程（教育学、教科教育学、特別支援教育学）、幼稚園教諭・保育士養成課程（幼児教育学、保育学、健康・福祉学）、心理学、の3領域に、それぞれ博士号

を有するか、同等の能力があると認められる教員を配置する。

- 2 小学校教諭免許、特別支援学校教諭免許、幼稚園教諭免許、保育士資格が取得できるよう「教育職員免許法施行規則」「児童福祉法施行規則」に準拠した2つのコース(小学校教育コース、幼児教育コース)のカリキュラムを滞りなく実施できるようにするとともに、専門教育を企図し、研究指導を実施し、学生のキャリア形成とディプロマ・ポリシーの実現を目指すことができる教員を配置する。
- 3 小学校教諭養成課程(教育学、教科教育学、特別支援教育学)、幼稚園教諭・保育士養成課程(幼児教育学、保育学、健康・福祉学)、心理学、の3領域の各専門分野において、教育・保育・臨床経験、及び実務経験を有している教員を配置する。

### 【看護学部】

- 1 看護学部の教育課程は、看護専門職を養成するべく「保健師助産師看護師学校養成所指定規則」に準拠して編制する。それと共に、地域社会の人びとの健康と well-being に貢献できるよう、共通科目(教養科目、外国語分野)及び専門科目(専門基礎科目、基礎看護学、生活支援看護学、療養支援看護学、統合看護学)の授業科目区分により構成し、各科目区分に十分な教育研究業績を有する教員を配置する。
- 2 看護学部の教育課程は、講義・演習(グループワークや実技演習等)・実習の授業形態で編成されている。特に4年間で23単位ある実習は、学内での講義・演習の成果を実践の場で統合していく重要な科目であり、指導方法・内容によって学生の成長に大きく影響する。したがって、カリキュラムを滞りなく実施できるよう、実習の準備となる専門教育の企図、実習施設との連絡・調整、学生個々のテーマに合わせた実習、並びに卒業論文に対する研究指導等、学生のキャリア形成とディプロマ・ポリシーの実現を目指すことができる教員組織を編制する。
- 3 保健・医療・福祉の現場において、適切な看護ケアを提供できる看護実践能力と多様なケア環境における多職種との調整能力、また、看護専門職としての社会的使命を自覚して疾病の予防を含め人びとの健康と well-being に貢献できる学生を育成するために、保健師、看護師、助産師といった各専門分野の資格を活かした臨地の実務経験を有している。さらに大学等の教育機関における十分な経験と実績のある教員を配置する。

### 【文学研究科】

- 1 英語英米文学専攻、社会学専攻、比較日本文化専攻の各専攻分野において、十分な研究教育業績を有する教員を配置する。
- 2 各専攻は、博士前期課程および博士後期課程があり、それぞれ科目担当教授と指導教授を配置する。前期課程では修士論文を、後期課程では博士論文を該当する院生に作成させるために十分な指導を行う能力のある教員および教員組織を編成する。
- 3 各専攻分野において、研究者や専門的な職業人を養成する高度な知識と研究能力を持った教員を配置する。
- 4 専門的知識を求めて大学院に入学する社会人に対して、十分な教育と指導を行う教員を配置する。

## 【経済学研究科】

### 【博士前期課程・博士後期課程共通】

- 1 経済学専攻の経済理論・経済学史分野、近代経済学分野、応用経済分野、経済史・世界経済分野、共通分野、経営学専攻の経営学分野、経営情報分野、流通・マーケティング分野、会計学分野、共通分野の各分野に、十分な研究教育業績を有する教員を配置する。
- 2 経済学専攻・経営学専攻におけるカリキュラムを運営することのできる教員を配置する。
- 3 大学院生や社会からの多様なニーズに対応できるよう、経済学・経営学における幅広い学問的バックグラウンドを有する教員により組織を構成する。

## 【法学研究科】

- 1 法学専攻、地域創生専攻の各専攻に、十分な研究教育業績を有する教員を配置する。
- 2 博士前期課程、修士課程および博士後期課程のカリキュラムを滞りなく実施できるようにするとともに、専門教育を企図し、研究指導を実施し、学生のキャリア形成とディプロマ・ポリシーの実現を目指すことができる教員組織を編制する。
- 3 各専攻分野における高度な知識を有する教員を配置する。専門教育を実施するにふさわしい、高い倫理性及び社会性を持つ教員を配置する。

## 【工学研究科】

- 1 博士前期課程機械工学専攻、電気工学専攻、情報学専攻、建築学専攻、土木工学専攻、物質生命科学専攻の各専攻分野において、社会のニーズおよび最先端の工学の流れを考慮した高度な専門性を持ち、十分な研究教育業績を有する教員を配置する。博士後期課程総合工学専攻においては、各専攻の専門領域における深い知識、かつ諸領域にわたる専門技術分野に、十分な研究教育業績を有する教員を配置する。建築学専攻では、建築学の専門分野に関する幅広い知識と特化された専門技術あるいは設計の分野に、十分な研究教育実績を有する教員を配置する。
- 2 博士前期課程は、機械工学、電気工学、情報学、建築学、土木工学、物質生命科学の6つの専攻のカリキュラムを滞りなく実施できるようにするとともに、高度な専門教育を企図し、研究指導を実施し、大学院生のキャリア形成とディプロマ・ポリシーの実現を目指すことができる教員組織を編制する。博士後期課程は、機械工学、電気工学、健康・人間医工学、数物科学、情報学、建築学、土木工学、応用化学、生命科学、材料・表面工学の各工学分野に関する深い知識と正確な判断力を持つ職業人の育成とともに、専門分野で自立できる研究者の育成を目指すことができる教員組織を編制する。
- 3 博士前期課程機械工学専攻、電気工学専攻、情報学専攻、建築学専攻、土木工学専攻、物質生命科学専攻の各専攻分野において、最先端の知識・技量および豊富な実務経験を有する教員を配置する。博士後期課程総合工学専攻においては、各専攻の専門領域における深い知識、かつ諸領域にわたる専門技術分野で指導的な役割を果たしうる豊富な実務経験を有する教員を配置する。建築学専攻では、建築・都市計画系、建築構造・生産系、建築設備・環境工学系の分野について、各分野における最先端技術の卓越した能力を持ち、指導的な役割を果たし得る教員を配置する。

## 【看護学研究科】

- 1 看護学専攻の各科目区分に十分な研究教育業績を有する教員を配置する。
- 2 各専門分野の実践的・専門的な知識に基づき、科目体系と自己の研究活動を連動させた研究指導に取り組むことができる。また、大学院生のキャリア形成とディプロマ・ポリシーの実現を目指し、カリキュラムを滞りなく実施できるよう専門教育を企図し、研究指導を実施できる教員組織を編制する。
- 3 各科目区分における最先端の知識と豊富な実務経験を有する教員を配置する。専門教育を実施するにふさわしい、高い倫理性及び社会性を持つ教員を配置する。

以 上

2020 年度第 3 回大学自己点検・評価委員会承認（2021.1.26～31 メール審議）（国際文化学部）

2022 年度第 1 回大学自己点検・評価委員会承認（2022.5.11）（理工学部）

2022 年度第 5 回大学自己点検・評価委員会承認（2023.3.1）（理工学部）

2023 年度第 5 回大学自己点検・評価委員会承認（2024.3.6）（国際文化学部）

2024 年度第 2 回大学自己点検・評価委員会承認（2024.7.3）（法学部）

2024 年度第 4 回大学自己点検・評価委員会承認（2025.1.29）（法学研究科）

2024 年度第 5 回大学自己点検・評価委員会承認（2025.3.5）（国際文化学部）

2025 年度第 1 回大学自己点検・評価委員会承認（2025.5.7）（看護学研究科）

2025 年度第 3 回大学自己点検・評価委員会承認（2025.10.1）（法学部）

2025 年度第 4 回大学自己点検・評価委員会承認（2026.1.28）（建築・環境学部）

2025 年度第 4 回大学自己点検・評価委員会承認（2026.1.28）（工学研究科）

2025 年度第 5 回大学自己点検・評価委員会承認（2026.3.4）（理工学部）

2026 年度第 1 回大学自己点検・評価委員会承認（2026.5.1）（理工学部、情報学部）